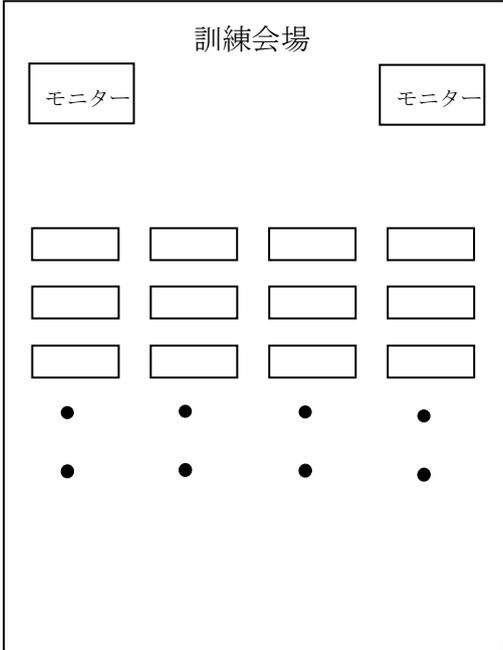
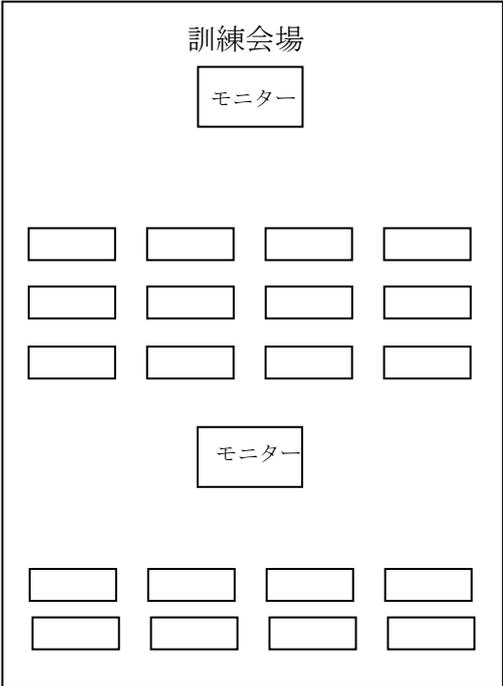


施設警備業務（2級）実技訓練運用マニュアル No.2

科目	○ 警備業務対象施設における保安に関すること	使用器材	VTR放映セット （モニター、デッキ又はプロジェクターセット）・・・・・・・・・・1セット 訓練用映像 DVD・・・・・・・・・・1本 訓練用答案用紙・・・・・・・・・・40枚
実施訓練細目	○ VTR映像による巡回実施上の着眼点及び留意事項	実施場所	屋 内
		時間配分	40分
		受講者数	40名
教本参照ページ		講師 (補助員)	責任講師—1名、講師—4名
内 容			
訓練目的	警備員が、警備業務対象施設を巡回する場合の基本的実施要領をまとめた映像を見ながら、巡回のポイント及び取るべき措置について、正しい実施要領を習得する。		
状況設定	1 本訓練は、受講者全員が集合できる学科教室等を使用して行う。 2 訓練会場の設営は、会場の広さ等を勘案して行う。例を示すと下図のとおりである。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> (例1)  </div> <div style="text-align: center;"> (例2)  </div> </div>		

	<p>※事前に映像、音声等に不備がないか確認する。</p> <p>※受講者全員に映像が見えるように配慮する。</p> <p>※プロジェクター使用の場合は、映し出す映像の高低に留意する。</p> <p>3 訓練用DVDを準備し、DVDの頭出しをしておく。</p> <p>4 講師陣の役割は、次のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 40px;">責任講師－訓練全般の運営及び指導</p> <p style="padding-left: 40px;">講師等 －V T R操作及び責任講師補助</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施要領</p>	<p>1 責任講師は、受講者を教室に集合させ、「V T R映像による巡回実施上の着眼点及び留意事項」の訓練を実施する。</p> <p style="padding-left: 40px;">＜時間配分＞ 40分（内訳：解説・指導30分（訓練用V T R中の模範映像 - 放映時間21分）、演習問題10分（訓練用V T R中の演習映像 - 放映時間2分））</p> <p>2 責任講師は、以下の説明を行い、訓練用V T R中の模範映像を放映する。</p> <p style="padding-left: 40px;">「今から放映するV T Rは、警備員が警備先の施設を巡回する場合の基本的実施要領をまとめた映像である。この映像を見ながら、巡回実施のポイント及び取るべき措置要領について、正しい実施要領を習得する訓練を行う。」</p> <p>3 責任講師は、模範映像の放映に合わせて短く説明を加えながら、受講者に巡回の実施要領及び不審事項についての点検並びに措置要領等を習得させる。</p> <p>4 責任講師は、訓練用答案用紙を受講者に配布し、試験の実施要領を説明、その後に訓練用V T R中の演習映像を放映し、解答させる。</p> <p style="padding-left: 40px;">号令：「答案用紙にゼッケン番号と氏名を記入しなさい。」</p> <p style="padding-left: 40px;">全員の記入が終了後</p> <p style="padding-left: 40px;">「只今から巡回実施要領の実技訓練を実施する。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「映像を見ながら、各場面の巡回要領が『正しい』か『誤り』かを判定し、どちらかのチェックボックスにチェックマークを記入しなさい。それでは映像を放映する。」</p> <p style="padding-left: 40px;">放映終了後</p> <p style="padding-left: 40px;">「やめ。」</p> <p>5 責任講師は、受講者を指名するなどして解答を確認しつつ、必要に応じ演習問題に係るV T Rを再度放映して、解答と解説を行う。</p> <p>6 責任講師は、最後に全体の注意指導を行い、本訓練は終了とする。</p>

- 1 警備室において、巡回で使用する鍵は紛失しないようキーストラップ又は鍵ひもに結着することを指導したか。
- 2 警備室において、巡回で使用する鍵は鍵ケースに収納することを指導したか。
- 3 （事務所）入室前、ドアを解錠する際には、まずドア越しに内部の様子を窺うことについて指導したか。
- 4 （事務所）入室前、内部の様子を窺って異常がなかったら、次にドアノブを回して施錠されていることを確認することについて指導したか。
- 5 （事務所）入室時は、内部が安全か警戒しながら入室することについて指導したか。
- 6 （事務所）入室後は、施錠後にドアノブを回して施錠されたことを確認することについて指導したか。
- 7 室内では、足元に注意しながら進むことについて指導したか。
- 8 会議室において、未施錠の窓があった場合には、外部からの侵入の有無を点検することについて指導したか。
- 9 喫煙室で、未処理の吸い殻がある場合には、所定の吸い殻収集缶に入れて確実に処理することについて指導したか。
- 10 給湯室では、ガスの元栓の閉め忘れや水道の蛇口の閉め忘れなどを点検することについて指導したか。
- 11 （事務所）退室前は、室内から外部の様子を窺うことについて指導したか。
- 12 （事務所）退室後は、施錠後にドアノブを回して施錠されたことを確認することについて指導したか。
- 13 防火扉については、火災発生時に正しく機能するよう、防火扉付近に物が置かれていないかを点検し、放置された物件は撤去することについて指導したか。
- 14 消火設備について、消火器が所定の場所に正しく設置されていない場合は、外観上の点検をすることについて指導したか。
- 15 トイレでは、ドアを開ける前に、ドア越しに内部の様子を窺うことについて指導したか。
- 16 トイレでは、個室や用具入れなどの中まで点検することについて指導したか。
- 17 階段では、下りるときには上階から下階を覗き込むことについて指導したか。
- 18 階段では、賊からの襲撃に備え、中央手すりから離れて左壁側を歩行することについて指導したか。
- 19 エレベータホールにおいて、不審者と対峙した場合には、安全な間合いをとって対応することについて指導したか。

添付（１）②

- 20 エレベータホールにおいて、不審者には名刺や社員証などで相手の身分を確認することについて指導したか。
- 21 エレベータホールにおいて、相手の身分が確認できたら、事前に残業届を提出するよう依頼することについて指導したか。
- 22 玄関ホールでは、不審な物が置かれていないかを点検することについて指導したか。
- 23 外周では、曲がり角では大きく回ることについて指導したか。
- 24 不審車両については、色、型式、ナンバーなどの特徴を記録しておくことについて指導したか。
- 25 泥酔者には、丁寧な対応で退去要請を行うことについて指導したか。
- 26 脚立については、侵入の足掛かりになるので、見付けた場合は周囲の異常の有無を確認し撤去することについて指導したか。
- 27 不審物については、警戒しながら中を確認し、ごみは撤去することについて指導したか。